

## 吉野川で遊ぼう！！



こんにちは。川遊び大好きアクティブ系河川管理者「遊び人のM」です。  
吉野川で遊ぼう！！では、自ら体験し、川を楽しみ、感じたことを発信します。  
第11回は「吉野川パラグライダー」です。

徳島県三好市・東みよし町を飛行エリアとして、パラグライダースクールを開校している「VAN スカイスports」さんで、インストラクターと一緒に空を飛べるタンデムフライトを体験してきました。



テレビで見たことがあるくらいの知識で、おそろおそろ電話すると「注意事項はいくつかありますが、簡単に飛べますよ。」とのこと。

## 【注意事項】

- 上空は寒いので長袖、長ズボンで。落とさないよう脱げにくい靴で。手袋もあるとよい。
- 飛べるかの最終決定は、前日 18 時の天気予報で決定。
- 気温が上がると、パラグライダーが高く上がりすぎるので早朝（7：00）集合

インストラクターの森さんより「4人ずつで順番にあの山から飛びます。移動に1時間かかるので、1時間後くらいに空を見上げてください。」と説明を受けしばらく待機。



インストラクター4人と体験者4人で、1時間車に揺られ離陸地点へ。車を降りて、離陸地点に登ると、すごい景色が待っていました。



インストラクターより

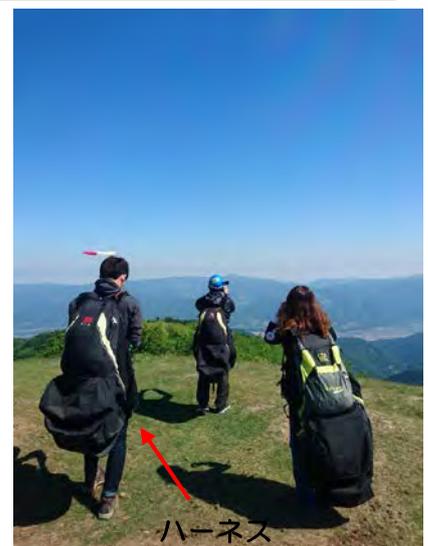
- ・インストラクターは、天候の条件はあるが、スクールなどもあり、ほぼ毎日飛んでいる。(安心)
- ・カヌーやサーフィンは波にりますが、パラグライダーは風に乗るんですよ。(???でしたが体験してわかりました)
- ・登山してパラグライダーで降りる「ハイクアンドライド」も流行っています。(やってみたい) ※ ( )はMの心の声

まず、人間とパラグライダーをつなぐ「ハーネス」を装備。リュックサックのように背負うとヤドカリのようです。

ハーネスとは「パラグライダーで空を飛ぶ時のイス」で、ハーネスに座ってパラグライダーを操作します。

パラグライダー本体は「キャンピー」と呼ばれます。

一人前とされるパイロットライセンスを取得するには1年くらいかかるそうです(月に2~3回程度の練習が必要)。



正直なところ、こんなところから飛べるのかと途方に促されています(笑)

さあ飛びますよ～

## 体験レポート (from まいまい)



はじめまして！まいまいです。

「遊び人 M with ゆかいな仲間達」で吉野川パラグライダーを体験してきました。

吉野川でパラグライダー？と思いましたが、この機会を逃したら、一生チャレンジする機会はないなあ〜と思い（高いところが苦手ではありますが）意を決して参加しました。

着地地点からフライト地点まで、車で山道を走ること1時間。

標高 1,000 メートルの地点から飛び立つわけですが、足下に広がるのは崖。崖に向かって真っ直ぐ走り、飛び降りることになります。

「本当にここから飛ぶの・・・」と胸がバクバクしました。

インストラクターからの指示は「体が浮いてからも5歩は駆け抜けて下さいね！」との一言。他のアドバイスは一切ありません。

ヘルメットをかぶってハーネスを装着し準備完了！なんとか笑顔をつくって恐怖心を抑えつつ、インストラクターから言われるままに、ダダダッと急斜面を駆け下りると・・・

「うわあ〜！」と思っているうちに体が浮き、飛んでいました。

その後は、インストラクターの巧みな技でグングン機体が上昇して行きます。高度 1300 メートルから広がるのは、吉野川の絶景。

機体が安定すると、自分で操縦もさせてもらえました。自分が行きたい方向に行って、まさに鳥になった気分です。パラグライダーに夢中になる人の気持ちが何となくわかりました。

着地の際は、「ドドドッ」と堤防の芝生の上におしりから着地。無事に生還しました！

初めてのパラグライダー。飛ぶ前は不安でいっぱいでしたが、着地後の一言目には「次はいつ飛ぼうか！？」と話していました。20分足らずですが、夢のような時間を体験できました。

P.S.パラグライダーでの飛行を待つ合間に、パークゴルフでも遊びました！5月号に引き続き2回目の体験ですが、相変わらずのOB連発... ですが、みんなで一緒に体を動かし、ワイワイ笑って最高の休日を満喫できました。



飛ぶ前のこわばった笑顔。忘れません（笑）

飛んだ瞬間は、「うわわわわわわー」でした。

飛び立って3分もすると、緊張してガチガチだった身体から少しずつ力が抜け、まわりを見る余裕ができます。上昇気流によって高度1300mくらいまであがることができました。

パラグライダーからの景色



飛んでいるときインストラクターが「風が来ますよ～」と言うと、強い風が吹いて、グワッとパラグライダーが浮く。

…インストラクターには、風が見えるようです。



余裕のポーズ

飛行時間は20分。

説明を受けたときは「たった20分しか飛べないの」と思い、山に登って景色を見たときは「20分も飛んで大丈夫?」と思い、着陸寸前には「まだまだ降りたくないー」と思いました。

「吉野川は、空も川も青かったです」